

## 欧米の幼児教育 ⑦

### ソビエト連邦の幼児教育

#### 施設の種類

ソビエト連邦の幼児教育は、学校教育制度の第一段階をなしています。最もありふれた施設はジュッキースート（幼稚園）で、園児は四つの年齢グループ（三歳児・四歳児・五歳児・六歳児）に分けられています。幼稚園の本質的な仕事は、幼児に十分な調和のとれた教育を与えると同時に、家庭の母親が社会的・文化的な活動にも生産にも参加できるようにすることです。

一九六〇年に新しい種類の施設が開設されました。それはヤースリースート（託児所幼稚園）で、生後二か月の乳児から入園を許されます。

からだが弱い子どものためには、「幼稚園療養所」が用意されています。夏の間、都会にある幼稚園は、幼児の健康増進のために、いなかへ移されます。

### 西 本 脩



幼児は法定年齢に達するまで、八年制学校の第一学年に入学を許されず、入学のためには、学年始めつまり九月一日に、満七歳になつていなければなりません。（一九五九年二月二九日、ソ連閣僚会議公布の法令）

#### 組織・財政・管理

ほかのすべての学校と同様に、幼児教育施設も国の施設で、地方の教育行政官庁・工場・製造会社によって設立されます。

ソビエト連邦の文部省と、連邦をかたちづくっている各共和国の文部省に、それぞれ独立した幼児教育の管理職があります。

高等訓練を受け、幼児教育を専門に研究している視学官によって、監査が行なわれます。

#### いろいろな特色

幼児教育は、義務教育ではなく随意です。入園を許される最低

年齢は、幼稚園で三歳・託児所幼稚園で生後二か月です。

幼稚園の維持費の七八パーセントないし八〇パーセントは国が負担しているので、親が支払いを引き受けるのは、その二二パーセント以下になっています。

幼稚園では、一組当たりの幼児数は二〇人ないし二五人であるのに対して、託児所幼稚園では、生後二か月ないし一〇か月の乳児の場合一五人です。

#### 教育活動と方法

幼稚園教員はみんな、文部省の認可した教育計画に従うよう要求されています。幼児の体育・知育・徳育・美育の内容とその要点を定めているこの教育計画には、適用される教育方法についての助言ばかりでなく、幼児向けの推薦図書目録もあります。なお、幼稚園経営者のために作られた「幼稚園便覧」は、経営一般と事務管理に含まれる事柄はもちろん、教育的な仕事の編成をも扱っています。

読み書きを教えることは、幼稚園のカリキュラムには含まれていません。幼児の学校教育に対する準備は、ことば使いのけいこ・声を出して一〇まで数えるけいこ・線画と着色の練習などによって行なわれます。

#### 教える言語

どの幼稚園もみんな、教える言語は民族語です。いくつかの共

和国の幼稚園では、民族語と共にロシア語の勉強が取り入れられています。

ある幼稚園では、もし親たちが求めるなら、口頭教授法による外国語の初歩が幼児に与えられます。

#### 時間割

幼稚園の保育時間は、親たちの要求によって異なります。普通の施設は一日九時間ないし一二時間開かれています。いくつかの施設では、いつも休みなく開かれています。

#### 研究の中心施設

幼児教育の諸問題に関する研究は、教育学アカデミーの科学的研究機関で行なわれています。(1) 教育理論と教育史の研究機関(幼児教育の部門)、(2) 心理学的研究の機関、児童心理学(幼児)実験室、(3) 子どもの美術教育の研究機関、(4) 体育および学校衛生の研究機関、(5) 教育方法研究のための中央実験室、教員養成機関の幼児教育部。また、ソ連邦を構成している各共和国にも、科学的研究の機関があります。幼児教育の科学的研究をするための特別な機関が、教育学アカデミーに作られています(モスクワ)。

#### 経済生活・労働生活との関係

前にも述べたように、幼稚園は働く母親の仕事を楽にするために特別に考えられており、保育時間はつごうのよいように決められ

ています。

## 家庭との協力

社会主義国家における教育の仕事と、家庭における教育の仕事とは同じですから、社会教育と家庭教育とはいつも手をとり合っています。その目的は、家庭教育と幼稚園の教育とをそろえて、幼児に単一な感化体系を与えることです。ですから、幼稚園の教員と両親との接触の機会がたびたびあり、親たちのために面接・展覧会・講話・集会などが設けられています。

## 医学的管理

医学的な援助が幼稚園で組織されています。医者と看護婦が、幼児のからだの発達と健康状態にいつも注意し、病気の予防に必要な手段を講じています。

医者はまた、食べ物の品質と調理法を検査します。これは、食物研究所が決め、政府がよいと認めた基準に従って幼児に与えられています。

## 安全と輸送

幼児は長距離を通園させるべきではないので、すまいからいちばん近い幼稚園に通わせられます。

親の働いている会社や工場が開いている幼稚園の場合には、幼児は親が連れてきます。

寄宿学校式の幼児教育施設は、へんびな、人の少ない地域に開

かれています。

## 建物と設備

幼稚園の本来の役目を果たすためになくてはならない標準設備を示す目録があります。この目録は、政府が認可したもので、こまかくいろいろな項目——つまり、へやの中の備品・医学的設備・衛生用品・体育器具・おもちゃと教材・家庭生活の材料・火災予防設備など——をいちいちあげています。

## 教員の養成

幼稚園教員は、特別な教員養成学校で専門職業訓練を受けます。その学校は娘たちに開かれていますが入学試験を受けるほかに、一〇年制学校の中等教育課程を修了し、音楽に対するよい耳を持っていることが証明されなければなりません。

その養成課程は二年かかります。その後、「幼稚園教員と経営者のさらに深い専門職業訓練を管理する条項」に従って、教員は個人的な勉強と課程をおさめることで、資格を系統的によい方へ進めていくことができます。少なくとも五年に一度は、ソ連邦を構成している各共和国の教育行政官庁が、幼稚園教員と経営者のために、さらに深い訓練課程を開きます。幼稚園教員や経営者は、この訓練課程をおさめるために、勤めを休む特別な許可を与えられます。

幼稚園教員はまた、教員養成大学の幼児教育学部が開く通信講

座や夜学課程を取ることができます。この学部では、幼児教育法の専門家はむろん教員養成学校の幼児教育の教授（各科目の授業に専門化されている教授）のために、訓練が行なわれます。この学部が提供する課程を取りたいと思うものは、中等学校の教育を受け、三年間保育にたずさわった経験がなければならず、また、入学試験を受けなければなりません。その課程は四年（通信講座と夜学部では五年）です。

### 教員の身分

幼稚園教員の身分は、八年制学校で働いている教員の身分と同じではありません。一日の労働時間は、幼稚園の方が長い。幼稚園教員の場合も、小学校教員の場合も、給料は教育程度と勤務年数によって決められます。一方の教育段階から他方へと移るためには、追加資格が必要です。

### 幼児教育の発展上の困難点

国家経済計画のもとに、都会と田なかの住民の要求を完全に満たすために、幼児教育施設のネット

ワーク（網状の組織）をいっそう広げる準備がされています。

（注）ソビエト連邦は、ロシア・ウクライナ・白ロシア・カザフなど一五の社会主義共和国が集まってできていて、正式な国名は、ソビエト社会主義共和国連邦といっています。

（大阪樟蔭女子大学）

## 和歌

### 冬の朝の登園の幼児

木枯の中 おべんとう手に手に 登園する  
児らの姿ぞ たくましくして

松木ゆきの



### 園庭で遊ぶ幼児

あたたかな 陽ざしをあびて 園の庭に  
のびゆく児らの むれぞあちこち

（香川県観音寺幼稚園）